

# みなみいず 町議会だより

No. 32号

2008年

平成20.2.1



## 祝成人 2008 (平成20) 年

議長年頭のあいさつ、平成19年12月定例会  
南房総市に行政視察・一般質問  
議会の動き、くろ潮



### 年頭のあいさつ

議長 渡辺嘉郎

明けましておめでとございます。皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は参議院議員の選挙をはじめ、我が町の町議会議員選挙と、いろいろとお世話になりました。さて今日、世界は、地球環境や資源、エネルギーの制約等のさまざまな課題を抱え、我が国においては、少子高齢化が進み、本格的な人口減少が到来し経済社会の活力の維持の方策が議論されており、国では経済は上昇しているとの見解ですが、我が町の経済は先行き不透明の状態が続くのではと私は思います。又、地方の市町村の零細企業、中小企業

が良くなならない限り、国の経済も良くなれないとの考えから、住民が安心安全で暮らせる町づくり、地域産業へのバックアップ並びに行財政改革等を中心に議員全員が一致団結の下がんばる一方で、市町の合併問題は町長の考えと議会の合意の下で進めて行きたいと思っております。

今年も町民の皆様方の町政へのご支援と深いご理解、又、議会へのお力添えを切にお願ひ申し上げますとともに、皆様にとつて最良の年でありますよう心よりご祈念申し上げます。議長として年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 平成19年12月定例会

平成19年12月定例会は、12月11日から13日までの3日間開かれました。一般会計補正予算、南上財産区管理委員会委員の選任について、国民健康保険税条例と水道事業給水条例及び下水道条例の各一部を改正する条例制定、町道路線の認定及び廃止についてなど計19件が上程され原案どおり可決(認定・同意)されました。

### 補正予算の概要

(単位：千円)

会計区分	補正額	補正後総額
一般会計補正予算(第4号)	53,981	4,014,485
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	15,547	1,587,276
介護保険特別会計補正予算(第3号)	29,055	828,863
老人保健特別会計補正予算(第2号)	95,516	1,215,000
土地取得特別会計補正予算(第1号)	31,078	31,083
公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	3,000	397,302
妻良漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)	104	245,907
水道事業会計補正予算(第2号)	2,761	283,144

### 条例・規約の制定・改正

- 南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 南伊豆町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- 水道料検針を隔月検針にするもの
- 南伊豆町下水道条例の一部を改正する条例制定について
- 下水道料検針を隔月検針にするもの
- 南伊豆町道路線の認定及び廃止について
- 岩殿地区のバイパス完成に伴う整理



### 認定・同意

- 南伊豆町南上財産区管理委員会委員の選任について
- 南伊豆町蛇石一〇四 佐藤勇一さん
- 南伊豆町市之瀬七〇八 山本徳次さん
- 南伊豆町下小野八九六 土屋政博さん
- 南伊豆町青野七五〇一 竹河十九巳さん
- 南伊豆町下小野五四八一 久保田厚夫さん
- 南伊豆町上小野五四四一 廣田 理さん
- 南伊豆町毛倉野一六二三 鈴木 傳さん

### 委員会報告

#### 第一常任委員会

日時：11月8日  
小学校統合にあたり、校名変更方針の経緯と保護者会

#### 予算決算常任委員会

日時：11月19日  
渡邊賀茂医師会長を講師として招き、賀茂地域の医療・救急医療の現状と課題について講演を受け、医療のあり方について各委員と意見交換を行いました。

#### 行財政改革特別委員会

日時：12月12日  
町行政改革推進実施計画(第2次×集中改革プラン)の進捗状況について、当局から全97項目の実施状況の中で、主なものについて説明と、財政的効果の比較で報告を受けた。また各委員から、質問、意見、要望があった。

### 行政視察

日時：11月12・13日  
場所：千葉県南房総市  
視察内容  
医療：2次救急について  
町村合併について  
体験型観光と直売所  
南房総市は、房総半島の先端を含めた6町1村が合併して市になりました。半島先端の南伊豆町と共通し地理的温暖的な気候環境にあります。富山地区(旧富山町)には、20床の国保病院



があり、自治医大出身の3人の医師が、夜間救急の対応・往診に献身的に携わっている報告を受けました。2次・3次救急は、隣接する鴨川市の病院に30分以内で搬送できるとのことでした。

合併については、合併特例債の活用を考えたが、返済のことを考え20%程度しか使っていないこと。合併しても財政状況は大変で、旧自治体から出る要望は大幅に整理しないとやっていけないと報告されました。南房総市の財政力指数は、合併後も35%と南伊豆町と同じです。

体験交流については、旧丸山村地区にある体験施設峰岡交流館を視察。四季を通して体験メニューを用意し首都圏からの観光客、小中学校の移動教室の受け入れの経験について聞きました。宿舎近くの白浜地区観光花狩り園では、温暖な気候を活用し花を栽培、早春の観光客受け入れの準備が行われていました。

●一般質問

# 町長に聞きました



漆田 修 議員

## 「自治体合併問題について」

質問 平成18年度三位一体改革は3兆円の税源移譲を受け10%の比例税率により実施された。我が国の地方分権の歴史が大きな一歩を踏み出した事は歓迎すべきこと、今般運営協議会に於て西伊豆、東伊豆両町が正式離脱したが、其の経緯と当町の今後の対応は如何か。

協議会が下田総合庁舎で開催され、両町を含む基本的考え方が表明された。西伊豆町は新たな合併については町民の合意が得にくい事、東伊豆町は合併説明会での意見やアンケート及び議員の意見等、其れ等の意思を尊重した合併の在り方を模索していくこととし、今回の合併構想の枠組みから外

れたいという事であった。又、当町は今般の行政報告で述べたとおりで、今後の県の支援策や他の市町の動向を見極め乍ら取り組んでいきたいと思う。

質問 地区説明会も終了したが、其の総括は議会にも報告願いたい。合併問題は新たな局面を迎えた。合併するしないに拘らず、千差万別の行政需要は存在しそれを的確に補足し、必要な財源を確保しなければならぬ。地域間格差と地方税財政改革は益々重要な論点となるが、特に税源移譲と財源保障について財政当局はどの様な認識を持っているか？

町長 地方財政に於ては、三位一体改革以来国庫補助金打ち切り、交付税の縮減な

ど厳しい状況が続いている。税源移譲即ち地方分権改革が叫ばれる中、目標は中央集権型システムの転換を図り、住民自治の充実と地域の個性を生かした社会の創生にある。今後全国町村会等を通じても地方自治の確立に向け邁進したい。

総務課長 交付税関係は地方審議会経由県の方より昨日正式な話しがあり、地方消費税も含めた税源保障の充実化、又法人二税の地方税移転の問題、条件不利地域への制度的恩典など、当町の様な自治体にとって有利な方向性が見られる。

質問 参議院選の敗北で地方に目を向けた結果と思慮される。今後合併も新局面を迎え、当町の税財政改革も町長以下当局一丸となつて頑張つて頂きたい。

## 小学校統廃合について

質問 全員協議会や新聞報道等で南崎(小)と竹麻(小)

の統合及び南崎(小)跡地の保育園構想が具体化されつつある。各地区説明会での当該問題に対する住民反応は如何か？

教育長 審議会だよりや新聞報道等で皆了解済みという印象であった。

質問 私はそつ思わない。児童・生徒を持たない一般住民は、地域に開かれた拠点としての学校の在り方への認識の低さと思慮される。三浜(小)完成の翌年公立小中学校統廃合が諮問された。当時の当局者の意図する事は何か、教育長自身の見解を賜わりたい。

教育長 当時教育長でない為、裏の背景迄は知り得ない。一般論では、集団教育での影響など複式解消が目的と考えられる。郡下で最後迄頑張つた南伊豆と言える。

質問 当時は、市町村合併論議の中での学校区再編が議論中であった。諮問の文言を一字一字再吟味された



長田美喜彦 議員

## 市町合併について

質問 1市5町の枠組みが崩れましたことは大変に残念に思っておりますが、他市町の首長は合併を進めたこと、町長は現在どのように考え、今後、他市町とどのように対応するの

か。町長 今後のことについては他市町という、1市3町でありますから、今後は合併に向けて取り組んでいきたい。

質問 私は合併を推進してもらいたい。早い時期に他市町との話し合いを持ってもらい、町長がどのように頑張ってもらえるのか。

町長 将来に亘つて町が単独でということとは非常に困難でありますから、合併は避けて通れない。そして今置かれている町の状況というのは、1市3町の枠組みで合併に向かつて取り組むということなのです。

質問 私も今後よく見極めていきたいと思っておりますので、よろしく今後のことをお願いします。

## 文化財について

質問 南伊豆町には国指定3、県指定8、町指定はゼロ、無いものと伺っております。先人の残したものを大事に行きたいと思っておりますが、町にも指定に値するものがあるのではないのでしょうか。また、それを観光に役立てることはできないか。

町長 文化財は国民共通の財産であると同時に地域の歴史と文化に根差した歴史



域で保存・活用、その他の措置を講ずる必要があるかとあります。

貴重な財産である文化財もその特性に応じて適切に保存し、次世代に継承するためには、積極的な公開、活用を図っていくことが極めて重要、町指定の文化財については、さらに慎重に検討をする。





竹河十九巳 議員

### 環境保全と放置林等の対策について

質問 森林荒廃は、農産物の猪被害だけでなく、下流域や海岸地域、他産業への影響はでていますか。

町長 漁港への土砂等の流出、あるいは外洋等に流木が流出することにより、漁業者への影響も見られる。

質問 その対策はどのようなことになっていきますか。

町長 町では分収契約によって現在、森林整備を行っております。また、山林災害は、県単独治山工事、公共治山事業によりまして、土砂の流出を防いでおります。

活用は視野に入っていますか。  
町長 基盤整備等適切な管理によりまして豊かな森林を創造し、水源涵養や自然体験学習、森林セラピー、また、リクリエーション活動の拠点として活用を図っていききたいというふうに考えております。



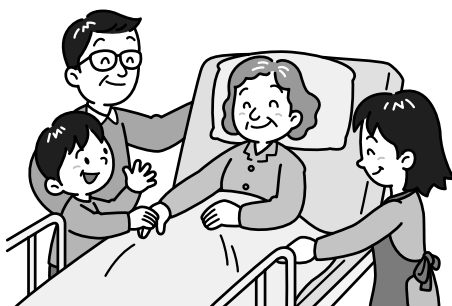
### 地震対策と地域防災について

質問 南伊豆町における防災台帳、要介護者台帳の整備状況はどのようになっていますか。

町長 要介護者台帳の整備につきましては、個人情報保護等の関係もあり、整備されておりません。

質問 防災台帳、要介護者台帳の整備を町はどのように進めていきますか。

町長 平成18年度より福祉担当及び防災担当で、災害時要援護者の対象の範囲掌



握方法及び関係機関との情報の共有方法など、代表区長及び民生委員からも意見をいただき、協議・検討中であります。

質問 平成27年度までの公共物と災害の拠点となる建築物の耐震計画はどのように進めていきますか。

町長 災害対策本部となる本庁舎の耐震性は、大地震の際、非常に危険な建物であり、南中小学校の屋内運動場につきましても、来年度の耐震診断結果を踏まえ、早急な対応が必要と思われるので、ご理解をいただきたく思います。

質問 改正耐震改修促進法及び静岡県耐震改修促進計画に基づいて耐震診断、耐震化を進めて、住民生活に不安を及ぼさないようにしていただきたいことをここに要望しておきます。

### 風力発電について

質問 立岩の休止中の風力発電はどのような状態で、将来展望はどのように町は考えていますか。

町長 発電機が故障して、修理費の捻出に手間取り休止している状態と聞いております。

質問 風力発電による健康被害報道を知っていますか。風力発電による健康被害についてどのよう町長は思っていますか。

町長 風力発電から発生される低周波騒音による健康被害の情報につきましては、国内数カ所において問題になっていることは承知しております。今後、事業実施後騒音のみならず、町民にとって何らかの被害が生じた場合には、町としましては、協定書等により速やかに業者を厳しく指導してまいる所存であります。



### 町長の政治姿勢



横嶋隆二 議員

質問 東伊豆町、西伊豆町が抜け1市5町合併は破綻した。町長は1市5町合併はやむなしということだったが、その根底にある、町が当面はいいけれども将来、

財政が大変だということを見た根拠は、何を目標に町政に取り組んでいくのか。  
町長 9月末に財政計画を示した。平成27年度までの計画で、各種基金を取り崩しながら運営していける試算だ。最低限の住民サービス維持、でき得る限りのサービスの向上を目指し、公共施設の耐震化対策を中心とした事業計画だ。しかし、財政力の脆弱な自治体は、国の政策で大きく影響を受け楽観視できない。  
質問 国民の声・市町村長の声が集まれば、国に対して方向転換の可能性もある。



国に町民の生活の視点からきつちり声を上げる立場を取るのか。

町長 全国町村長大会、山村振興・過疎自治体全国大会等に参加し、格差問題で声を上げ陳情している。

質問 長崎県知事が朝日新聞に、『九州地方知事会で地方交付税を以前の水準に戻せと決議した。地方自治体が疲弊している一番の原因は三位一体の改革だ。総務省は市町村合併を進める際、合併前を基準に交付税を算定する、合併後も削減しないと約束したが、実際は計算方法が変わったとして減らした。合併しなかつた市町村の方が、合計する

と額が多い。国を信じた市町村からすると、裏切りだ。』と述べている。南伊豆町の17年度決算経常収支比率は83.4%、郡下2番目、全国順位で320番目。実質公債費比率は、17年度決算では10.8%、全国順位294番目で郡下・全国で決して悪くない。行政推進する上で国の施策のあり方にこそ目を向けていくべきだ。

町長 国の施策の推移を見守り、町の指標も良く把握し、予算編成・町政に取組む。

質問 以上の観点からすれば、単純に財政が大変だからとか予算が無いからという声が上がることはいないが、町民に対し『予算が無いから』とか『お金が無いから』とか言っている。末端職員まで財政状況の認識と町民ニーズの受け止めが必要。

町長 職員として不適正な表現の対応があり今後指導する。  
質問 3年前の前執行部の時代と違つたのを確認するが、

住民投票が終わった後でも、当時の財政見通しでは町政が平成18年度、平成19年度には4億、5億の歳入歳出のマイナスが出て、町がやっていけない。財政調整基金を全て使い果たす方向を三位一体改革に乗せして、町民を誤った方向に進ませたのが前執行部だった。これに町長自身も議員として歯止めをかけた。1市3町合併に力を入れるよりも、住民が生活の維持の向上、人間社会と自然の共生を強めていく、こういうまちづくりに全力を傾ける方向が求められているのではないか。

町長 国・県の施策をよく分析し町の財政状況を検証して合併問題に取り組み以外にない。合併しようとしてまいと、自律のまちづくりは当然進めなければならず、その気持ちは変わっていない。今後も進めて行く。



稲葉勝男 議員

### (仮)観光交流館 建設について

質問 本町最大の観光イベント「みなみの桜と菜の花まつり」が、町内に大きな経済効果をもたらしていることは事実であります。し



かし、この桜も老木化が進み、また、他県各地に流出し、特殊性も薄れつつあります。また、平成21年3月には、富士山静岡空港も開港し、伊豆全体の観光形態

も変化することが予測されます。この様な現状を踏まえ、観光交流人口の増加を図り、安定した観光産業に結びつけることを考えた時、観光資源の整備・開発に取り組むことが先決であるとの考えから質問します。

「運営形態」について、農林水産直売所が含まれているが、来年3月に合併が予定されている漁協、現施設で好評を得ている湯の花売店とのテナント関係、また下賀茂地区の食堂と競合が考えられるレストランについてコンセンサスを得ているのか。実施設計に入っており、テナント方式か指定管理者制度か決定しているのか。

町長 管理運営形態について、観光案内所、民芸品等の展示室、農林水産物直売所や休憩所を兼ねた軽食コーナー等を計画している。県の補助事業であり、利潤追求だけでなく観光客へのサービスや受け入れ態勢の確立が主であり、管理運営につ



いては設計完了時点で協議したい。

産業観光課長 指定管理者制度を検討する。漁協、湯の花売店には確認を得ている。またレストランについても商工会、観光協会、旅館組合、下賀茂飲食店組合等と協議していく。

質問 指定管理者制度を採用するのであれば設計完了後でなく、早急に募集したらどうか。

産業観光課長 産業団体と協議していく。



町長 これは相手の町のあ

ること、難しい面もある。質問 市町合併の話もある。また、商工会では職員が、他町と人事交流し研修を行っている。

職員提案制度の内容と効果はどうか。

企画調整課長 職員提案制度は、毎年7月と11月の年2回募集を受け付けている。優秀なものは、庁議の中で表彰もしている。

質問 11月は件数的にはどのくらいか。

企画調整課長 11月は、今回は件数はございません。質問 ないとはどういうふうに解釈するのか。それとも改善の意欲が職員にはないというわけではないと思うが、改善が尽くされたから提案がなかったのか。

企画調整課長 当初から提案制度として既に31件あり、かなりの審査をした経過があり、今回はゼロという認識をしている。質問 提案してもらったことこそがその改善策につながっ



ていくと私は考える。行政評価システムで各事務事業の評価の導入とまた公表も必要だと考えるが。町長 行政評価システムは今年度中の試行的導入が若干遅れている。今後の実施に向けて、さらに調整を図っている段階である。導入の効果を最大限に発揮できるように、十分に検討を行う必要があると考え、評価対象事業の選定も含めた検討を再度実施することとした。質問 来年度初めには実施していただきたい。

### 町職員の資質及び能力の向上



清水清一 議員

質問 国・県からの事務の移譲が多くある。職員の資質・能力の向上が一層必要ではないか。職員の人材育成基本計画の内容とこれまでの実施状況は。

町長 集中改革プランに基づき人材育成基本計画の策定を今年度中に予定している。その中には求められる人材の能力の内容を明示し、職員の能力を客観的に評価し、能力主義による任用を徹底することが必要と

思料している。具体的には、職員の意識啓発、意欲の増進、能力の向

上、環境整備、人事管理、研修制度の充実等を柱に策定を進めている。

重要なことは、職員に優劣をつけるのではなく、費用は住民負担により賄われる公金であることを常に意識し、意識改革によりもたらされる自己啓発、研修

及び継続的改革・改善といった能力向上の成果を地域に還元することと認識し、職員の研修及び意識改革を推進する所存である。

質問 職員研修制度の内容は、どのように効率的に現在行われているのか。



町長 総務課が所管する研修は、平成18年度実績で延べ283人。各課等では、担当する事務に直結した研修へ、平成18年度実績で延べ280人が受講をしている。

職員の能力向上の基本は、日ごろの問題意識とそれに基づく自己啓発であると認識している。地方公務員法の改正により新たな制度の導入も検討し職員能力の客観的判断材料として人事に反映するなどの措置も今後必要ではと考える。

質問 賀茂郡の市町で、人事交流をするのも研修の一つだと思いが。

## 議会の動き

南伊豆町議会の動き・平成19年11月～平成20年1月

- 11月12日～13日 行政視察
- 11月15日～16日 例月出納検査
- 11月20日 地方自治法施行60周年記念式典
- 11月22日 賀茂地区福祉大会
- 11月26日 共立湊病院組合全員協議会
- 11月26日 議会全員協議会
- 11月27日～29日 定期監査(学校・幼稚園・保育所)
- 11月29日 町議会議長研修会
- 11月30日 町村議会議長全国大会
- 12月1日 市町村駅伝大会
- 12月4日 議会運営委員会
- 12月7日 監査委員臨時総会
- 12月7日 静岡県町村議会議長会
- 12月11日～13日 町議会12月定例会
- 12月12日 議会全員協議会
- 12月12日 行財政改革特別委員会
- 12月20日～21日 例月出納検査
- 1月4日 消防団出初式
- 1月7日 議会広報編集委員会
- 1月9日 議会全員協議会
- 1月9日 新春賀詞交歓会
- 1月10日～11日 例月出納検査
- 1月13日 成人式
- 1月15日 議会運営委員会
- 1月21日 地鎮祭(伊豆つくし学園)
- 1月22日 議会広報編集委員会
- 1月23日 講演会「鉄道を利用した……」
- 1月24日 郡議長会議

## 皆さまの声を お待ちしております

皆さまから届けられました貴重な意見・提案等は、「いでゆ」のコーナーに記載させていただきます。

### 南伊豆町議会事務局内 広報編集委員会

〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2  
TEL・FAX 626240

### 議会一口メモ

#### 自主財源と依存財源

地方自治体の財源には自らの権限で収入となる自主財源と、国を経由する財源で自治体の裁量が制限されている依存財源とがあります。

自主財源の中心はいうまでもなく地方税であり、その他、条例や規則で徴収できる使用料や手数料なども自主財源となります。依存財源の典型は国庫支出金(補助金)であり、地方交付税も国の一般会計を経由してくることもあって依存財源とされます。地方債について

は原則的に起債自由(自治法230条)であるから自主財源であるはずですが、許可制度があるため(自治法250条)に依存財源に分類されています。

地方自治体の自律性を高めるためには、自主財源の確保と強化、特に地方税の拡充と独立性の強化が原則であります。しかし、現実には経済の地域的構造には、租税を払える能力に地域的な格差が大きい。したがって地方自治を強化するためには、地方税の強化論だけではバランスを欠き、最も望ましい姿は自主財源であって一般財源(地方税と地方交付税)の強化です。



20年という節目の新年が明けた。穏やかな年明けであった。平成の20年間は、過ぎるのが非常に早く、短く感じられた。それは、周りが速いスピードで変化しているからだ。

日本や南伊豆町を取巻く環境は、同様に変化し、様々な意味で、以前より増して格段に厳しくなってきた。地盤沈下が進んでいる。地盤沈下が進んでいるような感じがする。

昨年末、上京した。東  
京湾岸戦争と異名されて  
いる首都東京の変化には、  
眼を見張るものがある。

日本で一番のリゾートは  
東京であるとの記事もあ  
る。

南伊豆町は、半島先端の  
ハンディもあるが、首都  
圏との連携をあらゆる面  
で探り、活性化を図るべき  
と思っただ年頭の感である。

(谷)